

セイコータイムスタンプサービスの TSA 証明書移行に伴う、設定の追加・更新対応のお願い

1. 概要

本稿は、「e-Success/ScanSave」にて「Seiko Trust タイムスタンプサービス(以下、セイコータイムスタンプ)」をご利用になられているユーザーを対象としたご案内です。

この度、「セイコータイムスタンプ」での TSA 証明書移行に伴い、これに対応するためにユーザーの環境で設定等の追加・更新作業が必要となります。

現在ご利用になられている「セイコータイムスタンプ」ですが、2024年12月6日よりR6サービス(現行環境)からR45サービス(新環境)へ完全に切り替わります。(2024年12月5日をもって現行環境のサービスが終了となります。)

現在の設定のまま運用を続けるとサービス切り替え後は、セイコータイムスタンプサービスを利用できなくなります。現行環境のサービスが終了するまでにR45サービス(新環境)へ切り変えていただきますよう、お願いいたします。

2. TSA 証明書移行に伴う必要な対応

- A) 現在 e-Success/ScanSave、ScanSave タイムスタンプ Web API に設定しているセイコータイムスタンプの URL の変更
- B) 新環境用 TSA 証明書の追加登録

A)について、この対応をしなければ、セイコータイムスタンプを使用することができず、e-Successに新規で登録した書類にタイムスタンプ付与が付与できなくなります。

B)について、この対応をしなければ、セイコータイムスタンプ製のタイムスタンプの署名検証に失敗し、検証結果が「○」にならず「△」と「×」となります。

必ず A) と B) 両方の対応を行ってください。

3. 対応の詳細な手順について

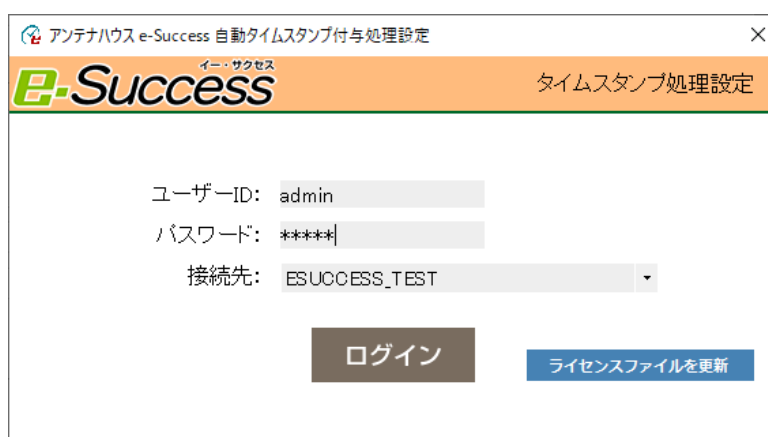
以下に「2. TSA 証明書移行に伴う必要な対応」に上げた、対応項目についての作業手順を示します。

お手数ですが、手順に従って対応作業を行っていただきますようお願いいたします。

A. 現在 e-SUCCESS/SCANSAVE に設定しているセイコータイムスタンプの URL の変更

○ e-Success-v5、V6、ScanSave-V4 を使用している場合

- ① 自動タイムスタンプ付与アプリ(e-SuccessTimeStamp.exe)を起動し、ログインします。
※ ScanSave-V4 の場合には、ScanSaveTimeStamp.exe を起動してください。



- ② 「タイムスタンプ局(URL)」 に設定されている URL の最後の 1 文字「2」を「3」に変更します。

○ 変更前

タイムスタンプ方式	PAdES(pdf)
タイムスタンプ局(URL)	https://pades01.seiko-cybertime.jp/basic/Timestamp?type=AccreditedA2
認証方法	Basic認証

最後の 1 文字を変更

○ 変更後

タイムスタンプ方式	PAdES(pdf)
タイムスタンプ局(URL)	https://pades01.seiko-cybertime.jp/basic/Timestamp?type=AccreditedA3
認証方法	Basic認証

更新後の URL:

https://pades01.seiko-cybertime.jp/basic/Timestamp?type=AccreditedA3

③ 「タイムスタンプ設定テスト」ボタンを押して、テストに成功するか確認します。

パスワード	*****
検証不備書類にも付与(PAdESのみ)	<input checked="" type="checkbox"/> タイムスタンプ付与する
プロキシ接続方法	<input type="radio"/> WinHTTP <input checked="" type="radio"/> WinINet <input type="radio"/> WinSock
タイムスタンプ設定テスト	

④ テストに成功した場合、最後「登録」ボタンを押して、自動タイムスタンプ付与アプリを閉じて終了します。

登録	→	閉じる
-----------	---	-----

※この設定画面を開いていると、タイムスタンプ付与のタスク実行はされません。
[登録]ボタンをクリックして設定を保存してください。

以上で e-Success-v5、V6、ScanSave-V4 についてのセイコータイムスタンプの URL の変更作業は完了です。

○ ScanSave-V3 を使用している場合

① ScanSave-V3 (ScanSave.exe)を起動し、ログインします。



ユーザーID:	admin
パスワード:	*****
接続先:	ScanSave
ログイン	

② 「処理設定」をクリックします。

長期番号 : 0件			
システム管理	運用管理	データベース処理	システム設定
<input checked="" type="checkbox"/> バージョン情報	<input type="checkbox"/> タイムスタンプ延長処理	<input type="checkbox"/> データベースメンテナンス	<input checked="" type="checkbox"/> 処理設定
<input type="checkbox"/> お問い合わせ	<input type="checkbox"/> タイムスタンプ付与回数集計	<input type="checkbox"/> システムの利用開始	<input type="checkbox"/> ユーザーマスタ
<input type="checkbox"/> 利用状況一覧	<input type="checkbox"/> 取引先/その他マスタ	<input type="checkbox"/> ScanSaveデータの連携出力	<input type="checkbox"/> 拠点マスタ
	<input type="checkbox"/> CSVデータの仮取込		<input type="checkbox"/> 書類種類マスタ

- ③ 以下のように「タイムスタンプ局(URL)」 に設定されている URL の最後の 1 文字「2」を「3」に変更します。

○ 変更前

タイムスタンプ方式	PAdES(pdf)
タイムスタンプ局(URL)	https://pades01.seiko-cybertime.jp/basic/Timestamp?type=AccreditedA2
認証方法	Basic認証

最後の 1 文字を変更

○ 変更後

タイムスタンプ方式	PAdES(pdf)
タイムスタンプ局(URL)	https://pades01.seiko-cybertime.jp/basic/Timestamp?type=AccreditedA3
認証方法	Basic認証

更新後の URL:

https://pades01.seiko-cybertime.jp/basic/Timestamp?type=AccreditedA3

- ④ 「タイムスタンプ設定テスト」ボタンを押して、テストに成功するか確認します。

認証方法	Basic認証
ユーザーID	SSOL_E26
パスワード	*****

タイムスタンプ設定テスト

- ⑤ テストに成功したら、最後に「登録」ボタンを押して設定を完了します。

必須設定	<input checked="" type="checkbox"/> 金額 <input checked="" type="checkbox"/> 取引先 <input checked="" type="checkbox"/> 品名
スキャン画像確認	<input type="checkbox"/> すべて確認済みとして処理する
タイムスタンプ付与回数集計開始月	4月

登録

キャンセル

以上で、ScanSave-V3 についてのセイコータイムスタンプの URL の変更作業は完了です。

○ ScanSave タイムスタンプ Web API を使用している場合

- ① メモ帳など適当なテキストエディタを使って ScanSave タイムスタンプ Web API の「Web.config」を開きます。
- ② 以下のように「タイムスタンプ局(URL)」に設定されている URL の最後の 1 文字「2」を「3」へ変更し、保存します

○変更前

```
<!-- タイムスタンプURL --> <CR LF>  
<add key="TimeStampURL" value="https://pades01.seiko-cybertime.jp/basic/Timestamp?type=AccreditedA2" />
```

最後の 1 文字を変更

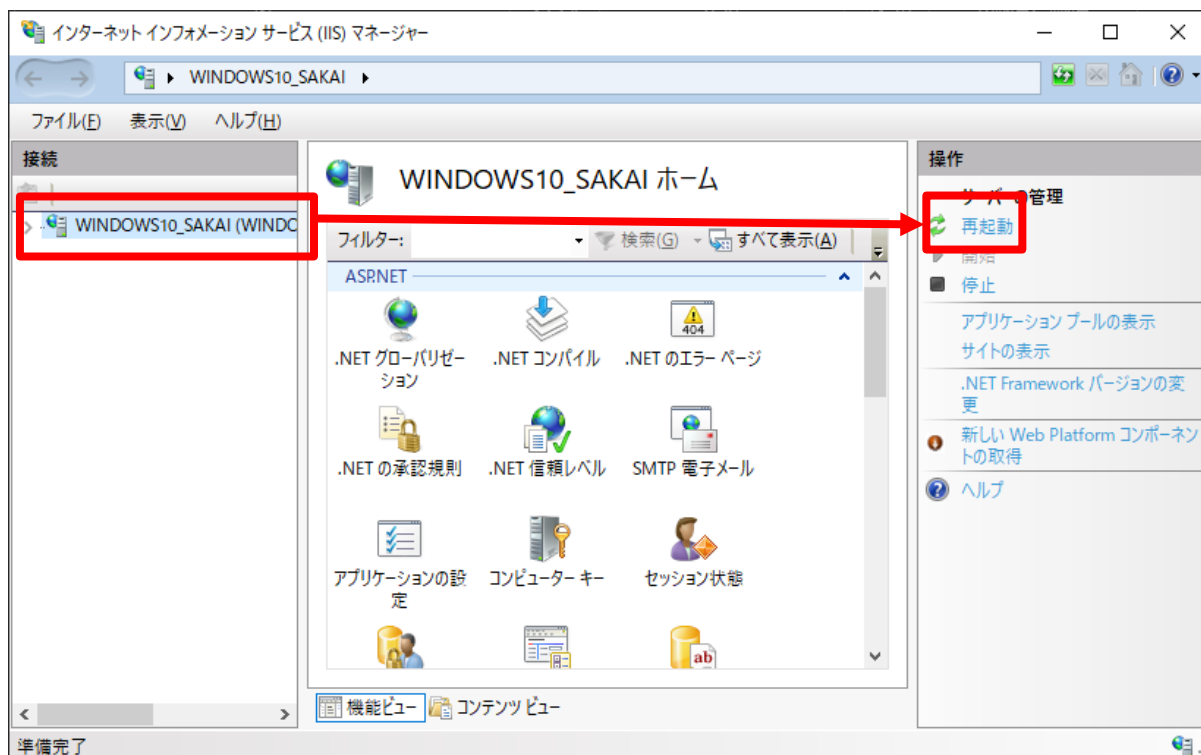
○変更後

```
<!-- タイムスタンプURL --> <CR LF>  
<add key="TimeStampURL" value="https://pades01.seiko-cybertime.jp/basic/Timestamp?type=AccreditedA3" />
```

変更後の URL:

https://pades01.seiko-cybertime.jp/basic/Timestamp?type=AccreditedA3

- ③ IIS マネージャーを起動します。
起動後、使用しているデバイス名(コンピューター名)を選択し、「再起動」をクリックして、IIS を再起動します。



- ④ IIS を再起動すると、IIS が Web.config の設定を再度読み込み、IIS 上で稼働している Web アプリケーションに設定が反映されます。

以上で、ScanSave タイムスタンプ Web API についてのセイコータイムスタンプの URL の変更作業は完了です。

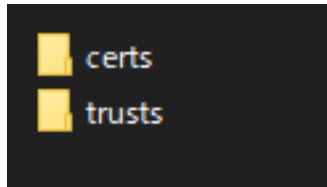
B.新環境用 TSA 証明書の追加登録

■ 最初に

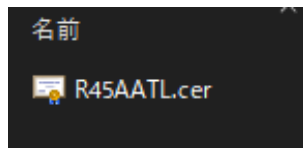
以下の URL より追加する証明書ファイルをダウンロードします。

https://www.antenna.co.jp/e-success/download/seiko_r45_cert.zip

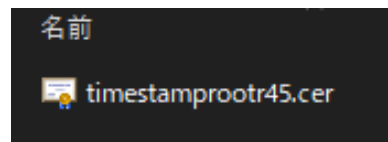
ダウンロードしたファイルを解凍すると「certs」「trusts」の2つのフォルダがあります。



「certs」フォルダには、中間 CA 証明書ファイル、「trusts」フォルダには、ルート証明書ファイルがそれぞれ1つずつ保存されています。



「certs」フォルダ



「trusts」フォルダ

クライアントアプリ(e-Success.exe / ScanSave.exe)のインストール先を開くと「store」というフォルダがあります。

その中を開くと、先ほどダウンロードした「seiko_r45_cert.zip」と同様の構成のフォルダがあります。



このフォルダの構成に合わせ「seiko_r45_cert.zip」に入っている証明書を、「store」フォルダの「certs」「trusts」フォルダのそれぞれに入れていきます。

なお本対応ですが、「Windows アプリケーション」と「Web アプリケーション」で一部作業が異なります。

対象となる各種アプリケーション、詳細な対応手順については、次のページで説明します。

■ 各種 Windows アプリケーション について TSA 証明書を追加する手順

○ 対象となるアプリケーション

- クライアントアプリ(e-Success.exe / ScanSave.exe)
- 自動タイムスタンプ付与アプリ(e-SuccessTimeStamp.exe / ScanSaveTimeStamp.exe)
- 自動一括取込アプリ(e-SuccessBulkImport.exe / ScanSaveBulkImport.exe)

※自動一括取込アプリのインストール先に「store」フォルダが無い場合は、自動タイムスタンプ付与アプリのインストール先にある「store」フォルダを、フォルダごとそのままコピーしてください。

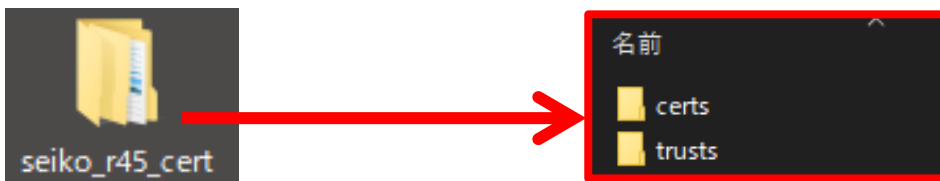
○ 対応手順

① クライアントアプリのインストール先を開きます。

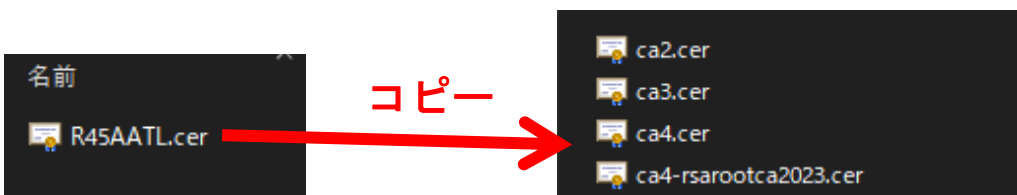
② 「store」フォルダを開きます。



③ 「■ 最初に」でダウンロードした「seiko_r45_cert.zip」の中身を開きます。



④ 「seiko_r45_cert.zip」の「certs」「trusts」フォルダに入っている証明書を個々のクライアントアプリの「certs」「trusts」フォルダにそれぞれコピーします。アプリケーション1つに対する追加作業はこれで完了です。



「seiko_r45_cert.zip」の「certs」

クライアントアプリの「certs」



「seiko_r45_cert.zip」の「trusts」

クライアントアプリの「trusts」

⑤ 同様に自動タイムスタンプ付与アプリ、自動一括取込アプリについても①～④の作業を行います。

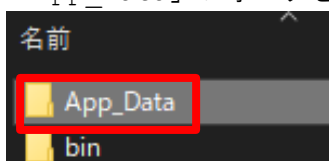
■ 各種 Web アプリケーション に対して証明書を追加

○ 対象となるアプリケーション

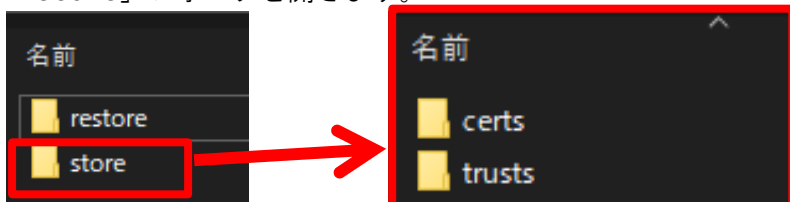
- Web 検索機能 (esuccess / scansave)
- リンクビュー (esuccesslinkview / scansavelinkview)

○ 対応手順

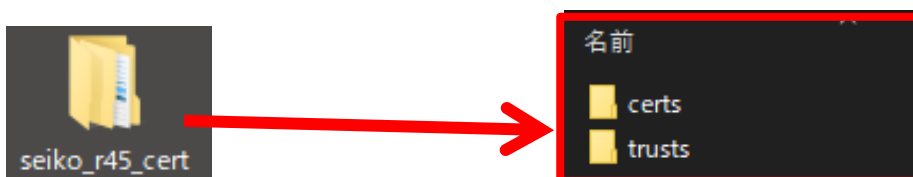
- ① Web 検索機能のインストール先を開きます。
- ② 「App_Data」フォルダを開きます。



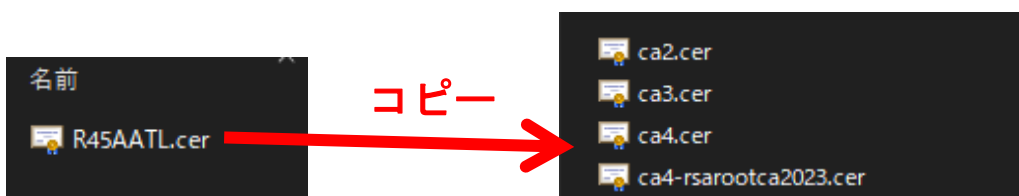
- ③ 「store」フォルダを開きます。



- ④ 「■ 最初に」でダウンロードした「seiko_r45_cert.zip」の中身を開きます。

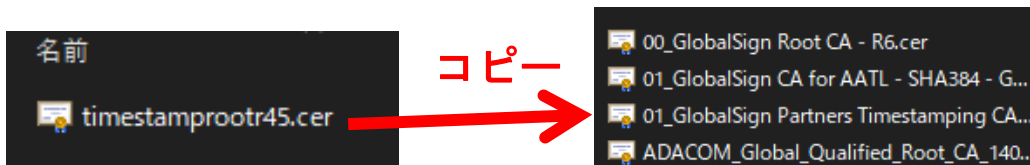


- ⑤ 「seiko_r45_cert.zip」の「certs」「trusts」フォルダに入っている証明書を Web アプリの「certs」「trusts」フォルダのそれぞれにコピーします。



「seiko_r45_cert.zip」の「certs」

Web アプリの「certs」



「seiko_r45_cert.zip」の「trusts」

Web アプリの「trusts」

- ⑥ リンクビューについても①～⑤と同様の作業を行います。

以上で、必要な対応作業は完了です。

4. テスト(オプション)

「3.対応の詳細な手順について」が完了後、新しい URL へ移行できたか確認する為に、下記の対応を実施していただく事をお勧めします。

- ① テスト用の書類を一度登録して、新しい URL でタイムスタンプ付与できるか確認
- ② ①が完了後、クライアントアプリ/Web 検索機能/リンクビューで書類検証を実行し、結果が「○」になるか確認。

5. 注意事項

- 今回新しくなったセイコータイムスタンプの新環境でタイムスタンプ付与をした後、クライアントアプリや Web 検索機能で署名検証を実行する際、検証時に必要な検証情報となる CRL ファイルや OCSP ファイルをインターネットの指定の URL から取得する処理が実行されます。

もしインターネット接続できない場合など、指定の URL にアクセスできない場合には、検証情報の取得に失敗したという結果となり、検証結果が「△」または「×」と表示されます。

インターネット接続の設定でフィルタリングを掛けている場合、以下の URL にアクセスできるように設定してください。

・ CRL ファイルの取得先

<http://crl.globalsign.com/timestamprootr45.crl>

・ OCSP ファイルの取得先

<http://ocsp.globalsign.com/timestamprootr45>

なお、インターネット接続なし（オフライン）でも検証が可能です。

インターネット接続なしで検証を行うには、各アプリケーションの「store」フォルダ内に「valids」というフォルダを作成し、その中に上記の URL からダウンロードした CRL、OCSP ファイルを保存してください。

■ 【お問い合わせ先】

アンテナハウス株式会社 e-文書・証憑/スキャナ保存製品サポートセンター

メールアドレス: edocument@antenna.co.jp

※お問い合わせの際は、ScnaSave/e-Success の「お問い合わせ」ボタンをクリックして、[クリップボードにコピー] ボタンをクリックすると、「お問い合わせ内容」欄に入力した内容がクリップボードにコピーされるので、メールを作成して、メール本文に貼り付けてご利用ください。